

# 中国道教像研究

さいとう りゅういち  
齋藤龍一 著  
▼B5判・上製カバー・294頁 定価 11,000円

2024年3月刊行



知られざる道教像の全貌を、時代性という縦軸と地域性という横軸をもとに、仏像との関連性を踏まえ、多くの図版を示しながら解明した、日本初の道教研究書。

## 【目次】

### カラー口絵

#### 第一章 序論

はじめに／一 道教像に関する研究史／二 問題の所在／三 道教像の出現／四 初期道教像のすがた／五 道教像の代表例と定型化／おわりに

#### 第二章 陝西「酈県様式」仏像・道教像

——南北朝時代北魏・西魏

はじめに／一 平行多線文造像とは／二 平行多線文造像の分布／三 平行多線文造像の出現／おわりに

#### 第三章 維摩像と道教像の影響関係と地域性

——南北朝時代北魏・北斉・北周

はじめに／一 凭几とは／二 雲岡石窟（遷都以前）および龍門石窟における維摩像の図像的変遷と凭几の出現／三 南北朝時代後期における凭几を伴う維摩像の展開／四 南北朝時代後期における凭几を伴う道教像の出現／五 南北朝時代後期における凭几を伴う道教像の分布／六 維摩像と道教像の図像的関連／おわりに——凭几を伴う図像のその後

#### 第四章 道教像の地域性——隋時代

はじめに／一 山西西南部／二 陝西・西安とその近郊／三 四川および重慶／おわりに

#### 第五章 仏像・道教像の地域間交流論——唐時代

はじめに／一 山西・芮城出土道教三尊像／二 陝西・潼關出土如来三尊像／三 基壇部に小龕を設け供養者像を表す形式の三尊像／おわりに

#### 第六章 道教像の展開と地域性——唐時代

はじめに／一 道教像の分布とその特徴——唐時代前半を中心に／二 石造大型道教像の出現——玄宗治世下における道教像の特質／三 道教像における主尊像の多文化と三清像の萌芽——唐時代後半の動向／おわりに

#### 第七章 結論——中心なき地方性の諸相と仏像との影響関係

一 各章の概要／二 南北朝時代から唐時代における道教像の特質

あとがき

図版出典一覧

中文摘要

索引

#### ◆著者略歴

齋藤龍一（さいとうりゅういち）

一九七一年東京生まれ。成城大学文学部芸術学科卒。北京大学考古学系留学をへて、成城大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（学術）。一九九九年より大阪市立美術館、彫刻担当学芸員。主な担当展覧会に「大唐王朝 女性の美」「道教の美術」「北魏 石造仏教彫刻の展開」「仏像 中国・日本」。主な論文に、「中国南北朝時代の敦煌莫高窟における中心柱窟の展開」「中国南北朝時代の酈県様式」仏教・道教造像に関する再検討」「中国南北朝時代における維摩像の展開と地域性——道教像との図像的関連に注目して」など。

## 注文書

(書店印)

ご担当

様冊

法藏館 定価 11,000円  
齋藤龍一 著

## 中国道教像研究

ISBN:978-4-8318-6333-4 C3071

住所

お電話

お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

芸術・中国美術